

令和3年度 事務事業評価シート（1）

[令和2年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	男女共同参画啓発関係事業			事業番号	007-047
担当部署名	市民人権	局	男女共同参画推進	部	男女共同参画推進

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	—	施策	—
		寄与するKPI	無	取組の方向性	—	—	—
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	指標名	—	—	—
		寄与するKPI	無	現状値	—	目標値	—
2	関連計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(5)ジェンダー平等を実現しよう	ターゲット	5.1
3	事業開始年度	取組	有	取組	男女共同参画に関する啓発		
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	現状値	無	現状値	—	目標値	—
5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁					
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	全市民（約83万人）、事業所（約3万事業所）、市職員（約5,000人）等					
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	男女共同参画社会の実現に向け、啓発冊子の発行や記念講演・課題別ワークショップ・研修の開催等により、ジェンダーに敏感な意識を醸成し、地域における男女共同参画をより一層推進する。また、DV・デートDV・性暴力被害等に関して正しく理解し、暴力の被害者にも加害者にもならないための意識啓発を行い、暴力のない社会の実現を図る。					
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	<ul style="list-style-type: none"> ○男女共同参画推進課より（Windy）の発行 ○男女共同参画社会の実現に向けて、講演会、課題別ワークショップ、ブックフェア等を実施する「さかい男女共同参画週間」の開催（令和2年度はコロナの影響で一部のみ開催） ○堺市内の小学校・中学校・高等学校・大学・専門学校を対象に、専門知識を持つ講師を派遣し、DV・デートDV・性暴力をテーマとする「デートDV等予防出張セミナー」を実施 ○『女性の権利及び国際平和のための日』として国連が定めた記念日である、「国際女性デー（3月8日）」に合わせて「国際女性デー2021映画上映会」を開催 ○地域における男女共同参画をより一層推進するため、市民団体などが開催する男女共同参画の学習会などに講師を派遣し、講師謝礼の一部を市が負担する「男女共同参画推進講師派遣事業」を実施 ○ジェンダーを正しく理解し、敏感な視点を持ち、地域において男女共同参画を推進する人材を養成する「男女共同参画リーダー養成講座」を実施 ○子ども虐待防止と女性への暴力根絶に向けた各種啓発活動を行う「オレンジ&パープルリボンキャンペーン」を実施 					
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	—					
10	公民連携・協働事業	—					

事業の概要

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		目標	目標	点検年度
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和5年度	
11 デートDV等予防出張セミナー参加者理解度	%	目標値	100	100	95	95	
		実績値	95	98			
		達成率	95%	98%			
当該指標を選定した理由		暴力の被害者にも加害者にもならないという意識の醸成を行い、理解を深めることで、ジェンダーに一因があるとされる暴力を防止し、男女共同参画社会の実現を図るため。					
目標値の設定根拠・算出方法		本講座のアンケートで、「よくわかった・少しわかった」「理解が深まった・やや深まった」と回答した人の割合。					
12 デートDV等予防出張セミナー参加者数	人	目標値	1,600	1,000	1,000		
		実績値	2,655	1,461			
		達成率	166%	146%			
当該指標を選定した理由		DV、デートDV等を正しく理解し、1人でも多くの若年層に予防啓発を行うため。					
目標値の設定根拠・算出方法		出張セミナーを受講した人数。令和2年度及び令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により申込数が減少することをふまえ目標値を設定。					

令和3年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	男女共同参画啓発関係事業	事業番号	007-047
-------	--------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

（単位：千円）

項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度
	決算	決算	予算	決算	予算
事業費 (a)	3,632	2,950	4,086	1,963	2,719
13 財源内訳					
国支出金	942	1,157	1,782	684	1,566
府支出金					
市債					
その他 ()					
受益者負担金(使用料、手数料等)					
一般財源	2,690	1,793	2,304	1,279	1,153
14 人件費 (b)	7,380	7,290	7,380	7,380	7,380
15 年間経費(c)=(a)+(b)	11,012	10,240	11,466	9,343	10,099

事業費の内訳

（単位：千円）

項目	年度	事業費		うち一般財源	項目	年度	事業費		うち一般財源
		事業費	うち一般財源				事業費	うち一般財源	
16 事業費内訳	謝礼金	R2 決算	702	336	その他保険料	R2 決算	4	4	
		R3 予算	1,770	826		R3 予算	12	12	
	費用弁償 (その他)	R2 決算	18	18	委託料	R2 決算	254	254	
		R3 予算	80	80		R3 予算	46	0	
	消耗品費	R2 決算	78	22	その他使用料及び賃借料	R2 決算	152	152	
		R3 予算	138	34		R3 予算	20	0	
印刷製本費	R2 決算	569	307	会場等借上料	R2 決算	44	44		
	R3 予算	375	73		R3 予算	150	0		
通信運搬費	R2 決算	126	126	その他 (機械・機器等借上料等)	R2 決算	16	16		
	R3 予算	114	114		R3 予算	14	14		

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和元年度	令和2年度
① デートDV等予防出張セミナー参加者数	人	2,655	1,461
② 上記①にかかる年間経費	千円	1,689	1,150
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	636	787
備考 (算出についての説明等)	経費は (人件費 + 講師謝礼金等) で算出。		

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18 デートDV等予防出張セミナーについて、新型コロナウイルス感染症の影響により、申込みがあった学校数は減少し、参加者1人に係る単位当たり経費は増加したが、それでも多くの生徒に講座を受講してもらうことができ、被害者にも加害者にもならないという当事者意識を高める啓発を効果的に行うことができた。各学校へ早期に案内するなどの工夫を行ったことで、カリキュラムに組み入れやすくなったことが要因であると考えられる。

KPI等への寄与 (基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか)

19 啓発冊子や講演会・講座等のアンケートでは「関心や理解が深まった」と読者、参加者の多くが回答しており、啓発などを通して基本的な知識を学び、実践を積む等により、地域で男女共同参画を推進する人材の養成につながった。
また、講演会・講座については、オンラインや動画配信といった集合型以外の形態でも実施するなど、実施手法の工夫により、新型コロナウイルス感染症の影響を少なくして啓発を行うことができた。
さらに、パネル展や各種イベントなど様々な機会を捉え、市民に男女共同参画に関する啓発・意識醸成を図り、SNSや広報さかいを通して多くの市民に啓発や情報発信を行うことができた。
これらにより、市民に対し、DV・デートDV等の暴力の予防啓発をはじめとする男女共同参画に関する意識啓発を行うことができ、男女共同参画及び暴力のない社会の実現に寄与していると考えられる。